

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 29 年 5 月 27 日	
所属部局・職	霊長類研究所・修士課程学生
氏名	瀧山 拓哉

1. 派遣国・場所 (○○国、○○地域)
屋久島
2. 研究課題名 (○○の調査、および○○での実験)
屋久島実習 植物コース
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)
平成 29 年 5 月 13 日 ~ 平成 29 年 5 月 19 日 (7 日間)
4. 主な受入機関及び受入研究者 (○○大学○○研究所、○○博士/○○動物園、キュレーター、○○氏)
香川大学, 篠原涉准教授 京都大学生態学研究センター, 工藤洋教授
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果: 長さ自由)
写真 (必ず 1 枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの) の説明は、個々の写真の直下に入れること。 別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。
霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院および、京都大学理学研究科生物科学専攻の カリキュラムの一環として、屋久島での実習を行った。今回の実習では植物班に所属し、シダ植物の分布 に関して研究発表を行った。日程は次のとおりである。
5 月 13 日 屋久島に移動 5 月 14 日 シダ植物の収集(低高度), 収集物の整理 5 月 15 日 シダ植物の収集(高高度), 収集物の整理 5 月 16 日 シダ植物の収集(中高度), 収集物の整理 収集した孢子体の同定 5 月 17 日 収集した孢子体の同定, 発表準備 5 月 18 日 発表準備, 発表 5 月 19 日 犬山に帰着
全体を通じて シダ植物の植生という、修士での研究テーマとは離れた内容だったが、研究内容について英語で議論を重 ね、共同で口頭発表の準備を行うことを経験できたのは非常に有意義であった。
調査活動以外でも、屋久島を存分に味わうことができた。18 日の夜には海岸でアカウミガメの産卵も見 ることができた。
調査内容 フィールドワークは 14 日から 16 日までの 3 日間、毎日フィールドでシダ植物の孢子体および配偶体の採 集を行った。図鑑を用いて形態学的特徴から配偶体の種同定を行った。その結果を用いて屋久島における 高度間でのシダ植生の違いについて、18 日に発表を行った。配偶体は洗浄した後 2 分割し、100%エタノ ールに保存した。22 日から行われるゲノム実習で、片方の葉緑体 DNAA を用いて種同定を行う予定である。 他方のサンプルは種同定後に形態学的特徴を参照するための標本として使用する予定である。
滞在地の永田と、調査地の尾之間、安房は島の反対側に位置していたため、調査日は毎日片道 1 時間半-2 時間程度、車での移動を要した。14 日は林道を徒歩で登り、道中にあるシダを採集した。15 日は高高度で の調査であったが、安房林道を車で移動した後の調査であった。当初採集予定であった場所でシダが見つ からなかったため、採集場所を変更したが、徒歩で移動した距離は長くなかった。16 日は尾之間林道を中 程度まで登る予定であったが、班員の一人が膝の痛みを抱えていたため途中で中止し、車で登れる安房林 道周辺で調査を行った。予定通りには進まなかったが、十分な量のサンプルを集めることができた。
幸いにも好天に恵まれ、フィールドワークを行った 3 日間のうち、雨が降ったのは 16 日のみであり、恵ま れた環境で、サンプリングを行うことができた。

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)



胞子体収集の様子



調査地へ向かう道中で紀元杉も見ることができた

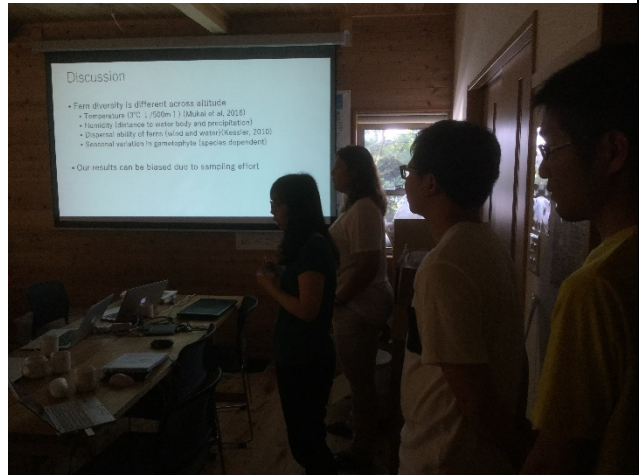
調査発表

19日に集めたデータに関する発表を行った。前日準備の段階では、準備に余裕があるように感じていたが、スライドの最終確認、調整に予想以上に時間がかかってしまったこともあり、スライドが完成したのが発表時間の10分前と、直前になってしまった。英語での発表であったにもかかわらず、十分な発表練習を行うことができなかつたことが非常に悔やまれた。

本研究の結果はゲノム実習の結果と合わせて5月30日に行われる国際シンポジウムCET-BIOで発表する予定である



データまとめの様子



発表の様子

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)



屋久島の夕日



ヤクシマザル

6. その他 (特記事項など)

本実習はPWSの支援で行われました。航空券の手配等、サポートして下さったPWS支援室の左海様、秋山様には大変お世話になりました。篠原先生、工藤先生をはじめとした講師の先生方には研究に関する様々なアドバイスから車での送迎まで大変お世話になりました。また、ほかの実習生の皆様にも、滞在中研究面でも生活面でもお世話になりました。この場をお借りして深く御礼申し上げます